



2万3千人が見上げた「エアメモ」の空

4月29日・30日に、海上自衛隊鹿屋航空基地などで「エアメモリアルinかのや2018」が開催されました。29日は佐世保音楽隊演奏会や体験搭乗が行われ、30日の航空ショーには23,000人を超える人が来場。P-3C哨戒機の編隊飛行や民間機のアクロバット飛行などに歓声が上がリ、米軍のKC-130空中給油機等の地上展示、着水脱出訓練展示などに多くの人が集まりました。



火事の延焼を防いだ冷静な行動力と勇気に感謝

4月18日、中央消防署で松原英之さん・直子さん夫妻(串良町岡崎)が火災功労者表彰を受けました。2人は3月24日に高須町で建物火災を発見。迅速な通報と初期消火で、延焼防止に貢献しました。



「人権の花」ひまわりを育てて思いやりを育む

4月25日、西原台小学校で「人権の花運動」開校式があり、ひまわりの種等が児童に贈られました。落合正斗さん(6年)は、「みんなで優しさあふれる小学校にしましょう」と抱負を述べました。



ボクシング全国大会で偉業達成

4月24日、ボクシングの全国大会で3連覇した荒竹一真さん(鹿屋工業高校1年)と、3位に入賞した松久保拓海さん(同高2年)が、関係者とともに市役所を訪問し、喜びを報告しました。



雄大に広がる景観を楽しみながら

4月29日、輝北うわば公園で「輝北グリーンハイキング」が開催されました。雲ひとつない晴天に恵まれ、市内外から参加した86人は、暖かな陽気に包まれながらハイキングを満喫しました。



新規就農者に就農開始資金贈呈

4月24日、市役所で「就農開始資金贈呈式」が行われました。4月から独立就農した上大園拓さん(東原町)と妹尾亜利抄さん(串良町上小原)2人の、畜産農家としての活躍が期待されます。



新茶・新じゃがが消費拡大キャンペーンで支援

4月16日、市役所で新茶の試飲と新じゃがの配布が行われました。これは茶とじゃがいもの市場価格の低迷を受け、生産者を支援するためにJA鹿兒島きもつきが行ったものです。



鹿屋のスポーツブランド創設

4月26日、鹿屋体育大学で、市と大学の地域密着スポーツブランド「Blue Winds」の創設を発表しました。これはスポーツ振興で地域を活性化する取り組みの一環。ブランド名は、鹿屋の空と海、体大のイメージカラー、そして勝利のWinを含んでいることに由来します。今後、様々なスポーツイベントで使用され、関連のグッズ開発も行う予定です。



「二芯三葉」を覚えて丁寧に茶摘み

4月19日、鹿屋農業高校で「新生による茶摘み実習」が行われました。これは農産物の生産活動を学ぶことや農業高校生としての意識高揚などを目的とした毎年の恒例行事。新生146人は、事前に茶の栽培や茶摘み方法の説明を受けた後、農業科の2・3年生と一緒に、新芽とその下3枚の葉を丁寧に摘んでいました。



平和を伝えるガイド2期生が誕生

4月18日、市中央公民館で「鹿屋平和学習ガイド」「戦争遺跡調査員」認定証授与式が行われました。今回認定を受けたのは、2月に市が開催した養成講座を受講し認定試験に合格した12人。平成27年度から活動するガイドとともに、平和学習や観光での戦跡案内、戦争体験談等の情報収集など、鹿屋の歴史を残し伝える活躍が期待されます。



寄附金を活用し授乳室・救護室が完成

4月28日、霧島ヶ丘公園で授乳室等開所式が行われました。これは、株式会社南九代表取締役会長の山下幸一さんが市に寄附された1,300万円を用いて、市が授乳室・救護室・休憩テント等を整備したことにより、実施したものです。山下さんは「日ごろお世話になる地元に恩返ししたい思いがある。ばら園などを訪れる人に利用してほしい」と語りました。



金澤さんの大書が文芸会館に花を添える

4月10日、市文化会館に、著名な書家・金澤翔子さんが揮毫した「共に生きる」の書が掲げられました。これは昨年11月に鹿屋西ロータリークラブ(池田志保子会長)の創立40周年記念式典で金澤さんが披露した書で、3月に同クラブから市に寄贈されたもの。設置以来、横幅約4mのインパクトのある大書は、訪れた人たちの注目を集めています。



肝属川再生のために稚アユを放流

4月28日、リナシティかのや水辺ステージで、「稚アユ放流会」が初めて開催されました。これは、毎年7月に肝属川の清掃作業を行っている「肝属川クリーン作戦実行委員会」(金沢幸一代表)が、「肝属川をアユの生息する清流に」との願いを込め行ったもの。参加した子どもたち約60人は、約300匹のアユを笑顔で放流していました。